

四季の庭・四季の道

水草をたのしむ池をつくろう

浅山 英一

梅雨が明けると炎暑のやってくるのは毎年のこと。暑い、乾くということになると子どもたちも一斉に涼しい水をほしがるようになります。海や野山の溪谷に足を運ばなくても庭や園内に噴水や池があれば一日をフルにたのしく過ごせるわけですから、今年は一メートル平方のビニール池を一緒につくってみたらどうでしょう。

池と水があれば、水に浮かぶ植物やメダカやキン

ギョもということになります。年をとると、夏の思い出が尊いものだけということが痛切に感じられます。

ビニール池をつくる

コンクリートで固めた池は工作の経費も労力もかかりますが、ビニール池なら数時間で出来上がりです。いわば即席の池なのでから広い庭がなくても

場合によってはテラスを利用してもやってのけることができます。

池づくりの準備

園芸資材を取り扱う会社に出向いてみれば所要のブロックや煉瓦を求めることができ、水草や魚類を買うこともたやすいことです。

前以て仮設定する

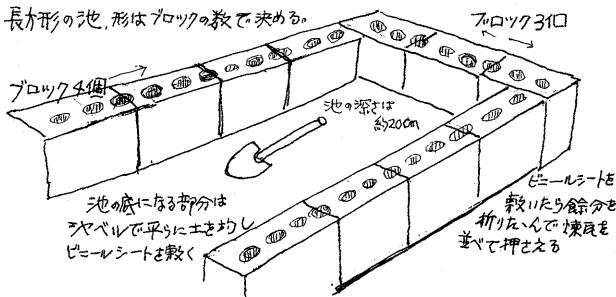
平らな場所を見つけてまずブロックを並べて長方形の池を仮設してみましよう。

市販のブロックは長さ三十九センチ、幅十センチ、高さ十九センチですから縦に置くか横に置くかで並べかたもいろいろになります。深さ二十センチの池をつくりたいなら下図のようにするのがよいでしょう。また、これに赤煉瓦（市販のものは長さ二十、幅十、高さ六センチ）を併せてつくりたいときは工夫次第で池の形もちがってきます。

池の形ができたならそれに併せてビニールシートを敷くわけですが、大幅のもので一・八メートルありますから適宜に切って敷くようにします。

池の周縁

池のアウトラインが出来上がったらシャベルで池の周囲に土を盛り上げ池の底面を平らにならし、ビニールシートをはります。ビニールシートがはみ出すようなら周縁のブロックの上ののせてその上



を十センチ面の煉瓦を並べてふちどりとします。池のまわりに花壇をつくることは自由ですが草丈の低いものを植えるようにします。

### 水を入れる

さてビニールシートを敷いたらホースから水を入れて完成となります。所々に苗を植えた鉢を沈め置くために適宜にブロックや煉瓦を置いて植物の葉がよく日光にあたるようにします。水中に鉢植えを入れると二、三日は水が汚れますがやがて泥は沈澱してきれいになります。

とくに葉が水面に浮かぶ種類は鉢がようやく水に浸る程度にしてやります。

カキツバタ、ミソハギなどの草丈の高い宿根草は池の底に鉢が沈むようにしてやらないと風で倒れて沈んでしまいます。池の深さは水面からブロックの十九センチとなるわけですから葉が水面に出るようにするのです。

### 水草をたのしむ

水草にはいろいろの種類があり、大小も、その性質もそれぞれがいます。しかし総じて水面によく日光のあたる必要があります。

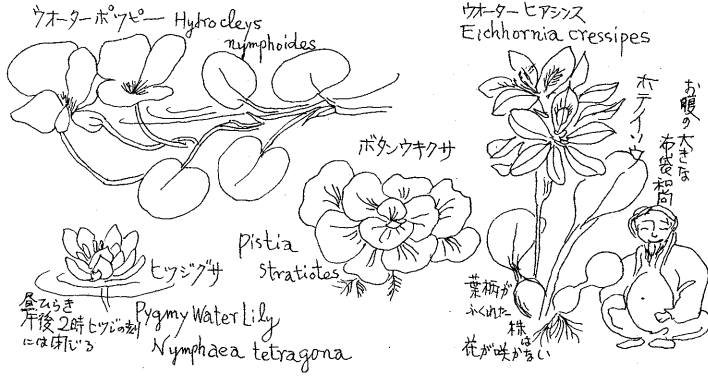
水面に浮かんで育つもの

ウォーター・ポッピー ブラジル原産の多年草で夏から秋にかけて水上に僅かぬきん出てあざやかな黄色の三弁花を盃状に開きます。ケシに似た花の花茎は約五センチ、花は朝に開き夕方には閉じますが調子がよければ次々と毎日咲きます。

葉は円形で水面を浅く這い伸びる茎は節毎に発根しますから二、三節つけて切り取り水面に浮かべておけば殖やせます。

戸外では冬に枯れてしまうので、適宜の大きさの容器に沈めて水温五、六度Cを保つようにして室内で保護しておき、五月末には戸外の池に浮かべてや

四季の庭・四季の道



ります。

ウォーター・ヒヤシンス 和名をホテイアオイと

もホテイソ  
ウともいう  
のは、布袋  
和尚のよう  
なふくれた  
お腹そっく  
りの葉柄が  
水に浮かぶ  
からです。  
水に浮か  
べておくだ  
けでも子ど  
もたちはふ  
くれた葉柄  
に興味をも  
ちますが、

引きちぎって株を分けると一夏にずい分殖えますから持ち帰って金魚鉢でたのしんだりします。

水に浮かんで腹のふくれた株はまず花が咲きませんが、肥えた畑土で鉢植えとして浅水につけてよく日光のあたる状態にしてやれば葉柄が伸びて立ち上り、七、八月には株の中心から花茎を立ててヒアシンスのように美しい藤紫色の六弁花を開きます。

しかしこれも一日花ですから次の日には折れ曲がって水中に沈みます。花をよく咲かせるには水温が高いこと、根から肥料分を吸収することがだいじですから、煮干しなどをませた土で鉢植えとすることです。池で咲かせるには水底に煉瓦やブロックを沈めてその上に鉢が水浸しになっているように置くことがコツです。

ウォーター・レタス アメリカ南部地方の河や沼に漂うサトイモ科の浮草ですがよく茂ると径二十センチにもなり、その重なりがレタスによく似ているのでこの名があります。見方によっては八重咲きの

ポタンの花に似ているのでポタンウキクサとも呼ばれています。昭和初年に日本に渡来したものです。近頃は金魚屋の店先に浮かんでいることもあり、株際から葡萄枝を出して夏の間はまたたくうちに殖えるのですが花はめったに咲きません。戸外では冬に枯れてしまうので水温が十五度C以上ある室内で親株を保護してやります。ブカブカと今日は東に明日は西にと浮かんでいるだけです。子どもたちには漂う草姿がおもしろく映ることでしょう。

戸外の池でなくとも室内の窓辺の水盤に浮かべておくのも見方の一つです。

ミズオジギソウ 熱帯地方の水辺に浮かぶマメ科の多年草で、鉢植えにしたのしむオジギソウと同じ性質で水上に出た葉にさわると複葉が折れたたみです。夏にはその葉腋から出た花梗の頂端に黄色の小花を球状につけますが、入手しにくいのでこちらの植物園に問い合わせてみなければなりません。マメ科の植物で水上に浮かんで育つのは珍しいもので

す。

ウォーター・カンナ(ミズカンナ) アメリカ南

部の沼沢地に自生しているクズウコン科の多年草で、高さ一、二メートルにもなるので大きな葉は小さな池には不調和な存在ですがその形はストレリチアによく似ています。夏には一、二メートルの花茎を立てて頂部の小枝に花をつけます。花は二枚の苞の中に上と下向きにつき紫色の花弁が三枚、めしべに手をふれたり、小鳥が止まったりするとおしべがはね返って花粉が飛ぶ性質があります。

水がない花壇に植えてもよく水をやれば低く育ち、耐寒力はやや強く盛り土しておけば、越冬するほどです。

#### 水辺の雑草

水辺の雑草にもビニル池に入れていいものが多いろいろあります。耐寒力が強いので戸外で越冬します。

ヒシ 全国どここの湖沼にも自生している浮草ですが、花のあと水中にできる果実は皮が硬くても中身は澱粉質で食べられます。果実の形が鬼に似ていておもしろく、人形につくると子どもたちもたのしうです。

ヒルムシロ 葉は水面に浮かびますがその形がワローダ（円座）のように円形です。アマガエルが座るとすばらしい漫画です。

ヒツジグサ 日本各地の沼に自生しているスイレンの一種で、花は小さく、径四、五センチの白い花を夏に開きます。鉢に植えて池の底に置きます。

ヒメスイレン ヘルボラという名で市販されている小型スイレンですがメキシコ種とヒツジグサの交配種で淡黄色の八重咲きです。

ヒメコウホネ 黄色のまろやかな花が夏に咲くコウホネ（河骨）の一種です。鉢植えとして水底に沈めておきます。

（園芸研究家）

